

## 『スタンダード二級建築士実践問題集 2011年版』正誤表

(2011.5.16)

本書の文章に以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、誤記がございましたことを深くお詫び申し上げます。

(学芸出版社)

解説編 p.5 「3 環境工学の用語・単位と環境問題」問題 1

### (誤)

3. 日照率は、可照時間(日の出から日没までの時間)に対する日照時間(実際に太陽の照った時間)の割合であるから、誤り。室内のある点の照度と、全天空照度との比率は、昼光率である。
4. 大気放射とは、空気中の水蒸気などに吸収された放射エネルギーが、地表面に到達するものである。大気放射は、吸収された大気の温度に応じて再放出される。選択肢文の「大気により吸収、散乱される部分を除き、地表面に直接到達する日射」は、直達日射である。

### (正)

3. 日照率は、可照時間(日の出から日没までの時間)に対する日照時間(実際に太陽の照った時間)の割合である。
4. 大気放射とは、空気中の水蒸気などに吸収された放射エネルギーが、地表面に到達するものである。よって、誤り。大気放射は、吸収された大気の温度に応じて再放出される。選択肢文の「大気により吸収、散乱される部分を除き、地表面に直接到達する日射」は、直達日射である。

以上